

(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名	岡山県立邑久高等学校		
実践者等	矢野 祥子	実践日	令和3年6月5日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	漢字検定対策講座（土曜活用講座）対面及びオンライン指導		
対象生徒（学年等）	1・2年次		
単 元 名 (教科・科目の場合のみ)			
使用したアプリ等	Power Point、Classroom、Meet、Web サイト（漢字検定）		
実践の概要（ねらい等）	漢字検定取得に向けて、学習のポイントを説明した後、サイトの練習問題を解くことで、現時点での力を確認するとともに、今後各自で自己学習ができるようにする。		
実践の内容			
（１）ログインして Meet に参加（生徒は教室及び自宅から） ・ Chromebook（１年は自分の端末、２年は学校の端末）を使ってログイン ・ Classroom の「漢字検定講座」グループに参加 ・ 示されている URL をクリックして Meet に参加 （２）本時の内容について説明 （３）漢字検定対策の学習のポイントについての講義 ・ Meet 上で画面共有し、教員が Power Point によるスライドを使って説明 （４）Web サイトでの学力チェック演習 ・ 「漢検受検級の目安チェック」 (https://www.kanken.or.jp/kanken/meyasuchek/) の Web サイトを画面共有で見せるとともに、Classroom や Meet のチャットに URL を示して、各自で自分の目標級の問題演習に取り組み、現在の力や弱点を確認させる。 ・ 「こんな間違い、していませんか？漢字の問題にチャレンジ！の Web サイト (https://www.kanken.or.jp/kanken/challenge/) を Meet の画面共有で示し、いくつかの問題について２択問題の答を指で答えさせた後、正解と解説を確認する。 ・ 特に注意が必要な熟語の構成について、事前配付プリントの演習と解説をする。 （５）今後の学習についての指示 ・ 問題集や Web サイトを活用して取り組む。			
参考となる HP 等	https://www.kanken.or.jp/kanken/		





